

《膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)における膵 CT 値を用いた膵癌スクリーニング》に関する研究

1. 研究の対象

2008 年 1 月-2018 年 12 月までの間に術前治療後膵癌の切除術をうけ、生体試料の保存に同意いただいた方

2. 研究目的・方法

目的：膵臓の脂肪沈着についての研究は、比較的近年報告されるようになってきており、膵癌発生とのリスクが示唆されている。本研究では、膵臓 CT 値が膵臓脂肪沈着を示し、IPMN における膵癌スクリーニングの一助となるのではないかと仮説をもとに、より臨床で有用な膵癌サーベイランス方法の確立を目標としている。

方法：2003 年 1 月-2016 年 12 月までの間に膵 IPMN と診断され、膵癌のリスクが高いと判断され膵切除術を施行された症例のうち、生体試料の保存に同意いただいた症例を抽出した。病理学的に high grade dysplasia または悪性と診断された群と、良性の群を比較し、膵臓 CT 値が病理学的悪性の予測因子となりうるかを検討する、単施設・後ろ向き研究です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：身体情報、画像検査所見、病歴等

試料：血液検査、手術で摘出した組織等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 消化器外科：研究責任者 山田 大作

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上